

すぐに取り組める!

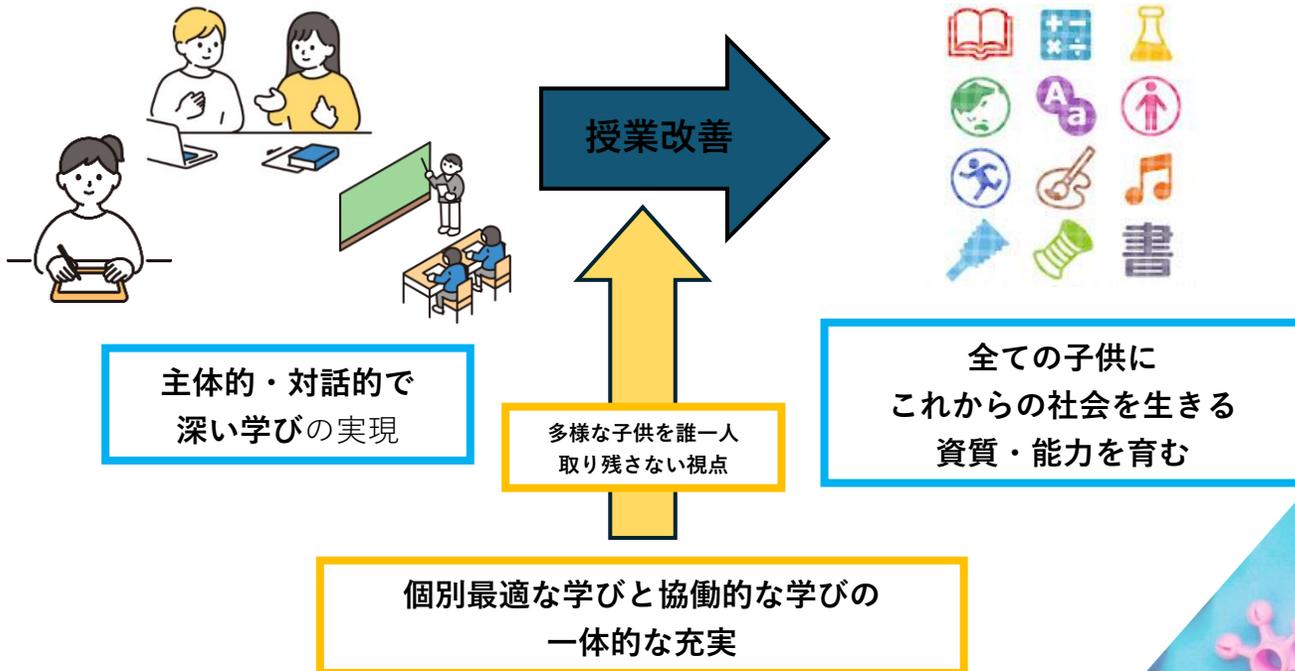
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

【生活科編】

作成:千葉県教育庁

東葛飾教育事務所指導室

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、
誰一人取り残さない形で、
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



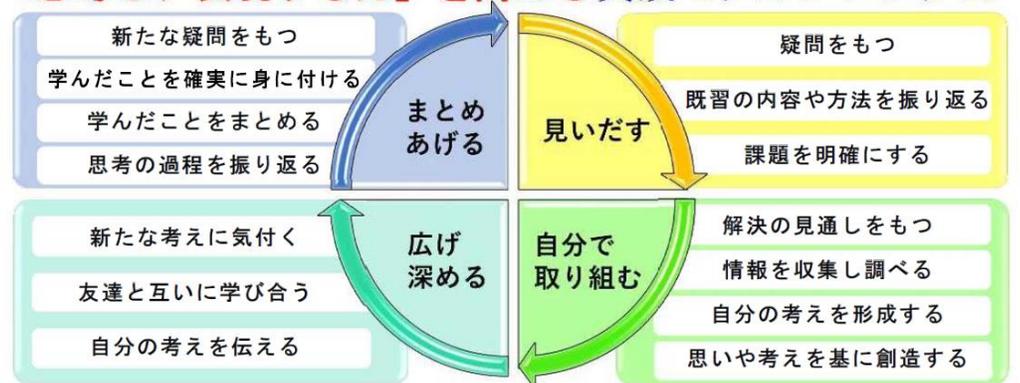
生活科の目標

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる
見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていく。

生活科の学習

よりよい生活に向けて思いや願いを実現する学習過程

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



ポイント① 児童全員の「思いや願い」を生かす

身近な人々、社会及び自然と
直接関わる活動や体験を重視し、
子どもたち一人一人が抱く「思いや願い」を生かす。

『作ったおもちゃを、いろんな人
に楽しんでもらいたい!』

個別最適な学び

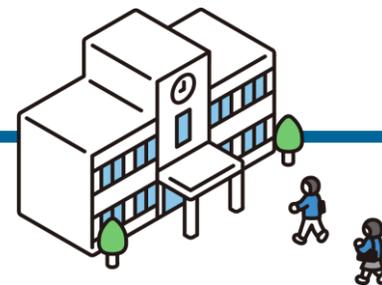
『学校や学区のことを、
もっと知りたい!』



自分で作ったおもちゃで遊ぶのは楽しいね!
これから、もっとレベルアップしたいんだけど、みんなはどんなふうになりたいですか?

☆指導のポイント☆

学校博士になるために、
どんなことをやってみたいですか?



◎教師の願い(学習のねらい)を一方向的に教えるのではなく、子供の「!(気付き)」や
「?(疑問)」を引き出し、「思いや願い」を生かす。 個別最適な学びへの支援

◎活動や体験を通して得られた、新たな気付きや疑問について、言語化したり、友達に
伝えたり(表現)する場を設定し、思いや願いの実現に向ける。 個別 ↔ 協働

ポイント② 思考や表現が一体的に繰り返し行われるようにする

思いや願いの実現に向けて活動する中で、具体的に**考えたり表現したり**することやそれを繰り返すことにより、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

「考える」「表現する」の具体的な活動については『小学校学習指導要領 解説 生活編 p.14、15』を参照



学区で働く人たちの様子について
どうやって伝えるといいかな？

学区探検で
インタビューしたときのこと
を劇にしてみようかな



☆指導のポイント☆

◎気付きを表現する時間を設ける。 → **気付きを自覚する**

個別最適な学び

・対話 ・ワークシート(取りためて、振り返る) ・ICTの活用

※活動や体験の時間を十分にとり、様々な気付きが生まれるようにする。

◎気付きを交流する時間を設ける。

協働的な学びへの支援

→ **新たな気付きが生まれる**

→ **気付きが関連付けられる**

気付きの質の高まり

すごいね! 僕のは、反対側に
伸びて、橋みたいになってるよ。
写真に撮っておこう!



個別



協働



あさがおのつるは、何に似ていますか。
発見したことを友達と話してみよう!

あさがおのつるがくるくるときれいに丸まって、ばねみたい!

ポイント③自分自身への気づきが生まれるようにする

身近な人々、社会及び自然と直接関わる中で、それらについて
気づくことができるようにするとともに、そこに映し出される
自分自身や自分の生活に気づくことができるようにする。



グループのみんなで
やったから、できました。
私もがんばりました。

◆自分自身への気づきとは◆

- 1 集団生活になじみ、集団における自分自身に気づく。
- 2 自分のよさや得意としていること、また、興味・関心を持っていることなどに気づく。
- 3 自分の心身の成長に気づく。



小さいころから生き物が好き
だったけど、お世話することも
上手になったよ!



ともだちと一緒にだと、力がわいてくるね。
すてきな振り返りだね。
みんなは、どう思っているかな?

☆指導のポイント☆

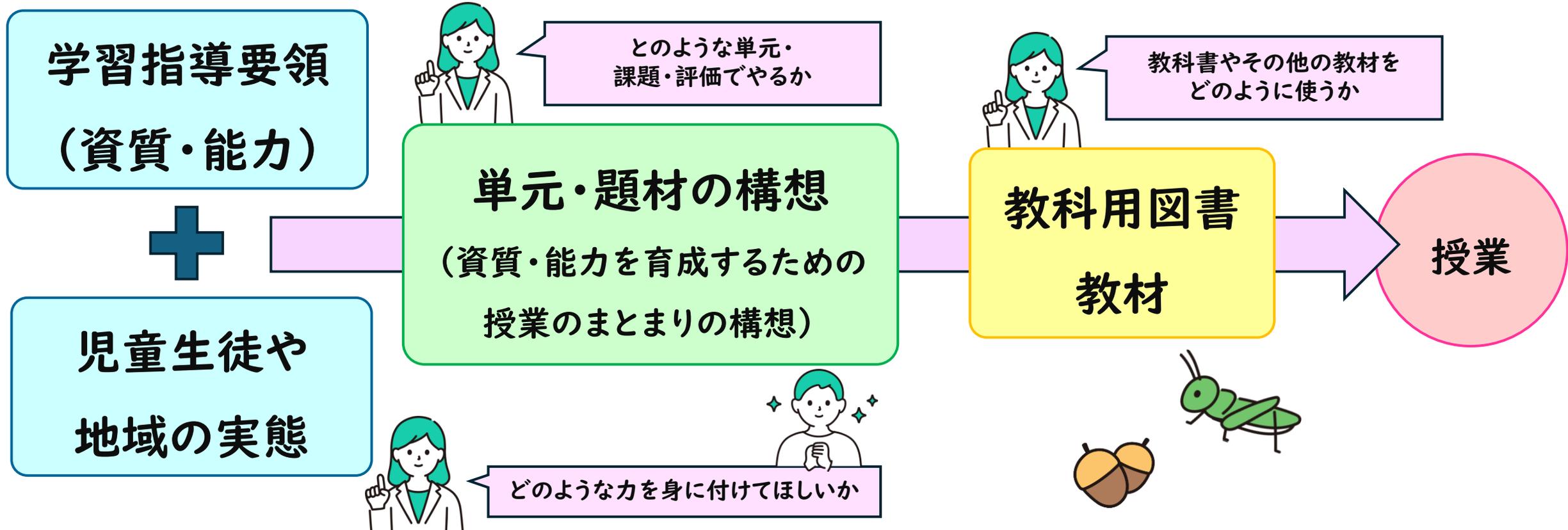
- ◎ポイント①②を踏まえ、活動や体験を言葉などによって**振り返り表現する活動**を位置づける。
- ◎児童の気づきに共感し、価値づける。
- ◎児童の気づきをつなぐ、「合いの手」のような教師の働きかけ、言葉かけを行う。

個別



協働

ポイント④ | コマの授業づくりから単元をベースとした授業づくりへ



ポイント④学習指導を支える土台作り

教科指導と生徒指導の一体化（実施上の4つの視点）

生徒指導提要

令和4年12月
文部科学省

文部科学省

①自己存在感の感受

- ・自分も一人の人間として大切にされている。
- ・自己肯定感
（「〇〇が好き!」「〇〇が苦手・・・」と素直に言える）
- ・自己有用感
（〇〇ちゃんのお手伝いしたら、ありがとうって言われた!）



②共感的な人間関係

- ・失敗を恐れない学級。
- ・間違いやできないことを笑わない学級。
- ・どうすればよいかみんなで考える、創造的な学級。



③自己決定の場の提供

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 思いや願いを生かす
- 自分で考えて、自分で作る、試す、工夫する。
- 気付いたことを言葉、絵、動作、劇化など
多様な方法で表現する。



④安心・安全な風土の醸成

- ・事故や怪我がない学級（はさみ等の使い方の指導）
- ・いじめや暴力行為がない学級。（教師も言動に注意）
- ・個性や多様性を認め合う学級。

